

2024年度「アルミニウム製品」総需要見通し

アルミニウム調査会

① 総需要見通し総括

	2022年度実績	2023年度見込	対前年度比増減 (%)	2024年度見通し	対前年度比増減 (%)
合計	3,792	3,769	▲0.6	3,850	+2.1

*四捨五入のため、合計値が合わない箇所あり（単位：千トン）

●2023年度見込み

総需要： 3,769千トン（前年度比▲0.6%）－2年連続でマイナス

圧延品： 1,700千トン（前年度比▲4.9%）－詳細は「アルミニウム圧延品需要見通し」を参照。

鋳造品・ダイカスト品：1,342千トン（前年度比+8.8%）－国内外で自動車生産の回復が進んだ。

輸入： 471千トン（前年度比▲8.3%）－建設工事の遅れなどから、建材輸入が大幅に減少。

●2024年度見通し

総需要： 3,850千トン（前年度比+2.1%）－プラスに反転の見通し

圧延品： 1,727千トン（前年度比+1.5%）－詳細は「アルミニウム圧延品需要見通し」を参照。

鋳造品・ダイカスト品：1,394千トン（前年度比+3.8%）－自動車生産は引き続き堅調を見通す。

輸入： 471千トン（前年度比±0%）－建設関連は引継ぎ弱含み、輸入全体では横ばいの見通し。

② 主要部門別補足説明

<圧延品> 注1)：左欄の（%）は前年度比。以下同様

2023年度 (▲4.9%)	<p>○缶材－ ▲1.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> 行動制限の撤廃による家飲み需要減少や、物価上昇の影響による消費抑制、酒税法改正などの影響によりアルコール類は減少した。 ボトル缶は、脱プラによる水の採用は増加したものの、製品値上げの影響を受けてコーヒー用が減少し、ボトル缶のトータル需要は前年割れとなった。 缶については毎年、軽量化が図られており、1缶あたりの使用重量の変化も需要変動の一因である。 <p>○自動車材－ +14.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内自動車生産が回復、中でも自動車パネルは採用車種が増加し大幅増。 <p>○建材－ ▲9.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅着工戸数の減少に加え、国の施策によりアルミサッシからアルミ樹脂複合、樹脂サッシへの移行が進展、一戸あたりのアルミ使用量が減少している。
2024年度 (+1.5%)	<p>○缶材－ +0.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境対応による軽量化や引き続き物価高騰による消費抑制なども見込まれるが、リサイクル性に優れるアルミ缶採用の進展を見込む。 <p>○自動車材－ +2.3%</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内の自動車生産は堅調に推移する見通し。 <p>○建材ー ▲1.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅着工戸数は建設コストと住宅ローン金利の上昇懸念からやや減少（サッシ協会見通し▲1.3%）
--	---

< 鋳造品・ダイカスト品 >

2023 年度 (+8.8%)	鋳造品+9.3%、ダイカスト品+8.6% <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外で自動車生産の回復が進み、前年比大幅増となった
2024 年度 (+3.8%)	鋳造品+3.9%、ダイカスト品+3.8% <ul style="list-style-type: none"> ・ 懸念される経済減速リスクは存在するも、半導体不足の更なる解消や、各国の経済対策の効果等による緩やかな景気回復による自動車生産の増加を見通す。

< 電線 >

2023 年度 (+15.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内需は、ウェイトの高い電力向けでは再生エネルギー関連や設備更新需要により、その他の分野では自動車関連需要の伸びにより、前年比増となる見込み。 ・ 輸出は、大型案件により、前年度比増と見込む。
2024 年度 (+5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内需は、電力向けは引き続き再生可能エネルギー関連、設備更新需要が見込まれる他、連系線需要の増加により増と予測の他、引き続き自動車関連需要を期待。 ・ 輸出は、前年並みの案件を見通す。

< 輸入 >

2023 年度 (▲8.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人手不足や資材の高騰などにより、建設工事は遅れや延期が発生し、建材輸入が減少、圧延品の輸入も減少を見込む。
2024 年度 (±0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設関連は引き続き弱含みを見通す。

以 上

③ 製品別需要

2024/3/29発表
アルミニウム調査会
(単位:トン)

製品		年度	2022 実績	2023 見込み	2024 見通し	対前年度増減率	
						23/22	24/23
圧延品	板類		1,107,562	1,043,720	1,071,170	▲ 5.8	2.6
	内自動車		180,507	208,449	213,500	15.5	2.4
	押出類		680,256	656,714	655,380	▲ 3.5	▲ 0.2
	内自動車		117,832	134,381	137,150	14.0	2.1
	計		1,787,818	1,700,434	1,726,550	▲ 4.9	1.5
	内自動車		298,339	342,830	350,650	14.9	2.3
鑄造品	自動車		346,568	381,200	396,700	10.0	4.1
	その他		16,749	16,000	16,000	▲ 4.5	0.0
	計		363,317	397,200	412,700	9.3	3.9
ダイカスト品	自動車		767,511	846,600	881,000	10.3	4.1
	その他		103,232	98,600	100,000	▲ 4.5	1.4
	計		870,743	945,200	981,000	8.6	3.8
鑄造品・ダイカスト品 計			1,234,060	1,342,400	1,393,700	8.8	3.8
鍛造品			55,685	61,300	63,600	10.1	3.8
内自動車			42,751	50,000	51,800	17.0	3.6
電線			22,347	25,700	27,000	15.0	5.1
鉄鋼			110,781	109,000	109,000	▲ 1.6	0.0
粉			9,422	8,500	8,500	▲ 9.8	0.0
その他			58,307	49,800	49,800	▲ 14.6	0.0
輸入			513,972	471,500	471,500	▲ 8.3	0.0
総需要			3,792,392	3,768,634	3,849,650	▲ 0.6	2.1
輸出			194,220	153,600	162,200	▲ 20.9	5.6
内需計(総需要-輸出)			3,598,172	3,615,034	3,687,450	0.5	2.0

自動車向け 合計 1,455,169 1,620,630 1,680,150 11.4 3.7

注1) ▲印はマイナス

注2) 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

アルミニウム調査会構成 (順不同)

アルミ缶リサイクル協会

一般社団法人 日本アルミニウム合金協会

一般社団法人 日本ダイカスト協会

一般社団法人 日本アルミニウム協会

一般社団法人 軽金属製品協会

一般社団法人 日本サッシ協会

一般社団法人 日本電線工業会